



# 天岩戸はなぜ開く。

ビールをお好みで。どうですか？なかなか趣向をこらしたメニューだと思いませんか？ではこのメニュー、いったいどこで出されたものなのでしょう。

多くの方は、少し気の利いたレストランか、

三 デリアムレアに焼き上げた赤みを残すステーキに添えられているのは、ポイルしたほくほくのじゃがいもと人参、緑が目にも新鮮なブロッコリー。その上になっぶりとかけられた濃厚なソースは香り立つ赤茶のデミグラスです。お気に召しませんか？では桜のチップでしっかり薫製した香ばしいスモークサーモンのオープンサンドに、白身魚のフリッターはいかがでしょう。飲み物にはいっそう食欲を刺激する赤ワイン、もしくは

自宅ならば何かの記念日でも出されたものなのでは、と考えられたのではないでしょう。か。ですが実はこのメニュー、北欧の高齢者介護施設で出された、なんの記念日でもないある日のランチメニューなのです。

総合リハビリテーション学部、医療リハビリテーション学科の備酒助教授の専門は高齢者ケア。ペンマークへの視察の際に訪れた高齢者介護施設で見たその「なんでもない昼食」に、驚きを隠せなかったそうです。なぜなら、同じ時期、日本で一般的に出されていた介護食との間にあまりに大きな差を感じたからです。北欧の食事には、作り手に「楽しんでもらう」という強い意識があって、食べる側に「食べたい」と思える気持ちを十分に感じさせるものがあつたからです。

これは、日本におけるこれからの福祉や介護の制度を考え創り出す上で、真理とも言うべき大事なこと。つまり福祉や介護の制度とは、「仕方なく使う」のではなく、「使いたい」と思えるものでなくてはならないということ。誰にも後づめたい思いをすることなく、いやいやながら利用するものでもない。介護保険料という義務を果たすことで許された当然の権利。それが介護であり福祉なのです。

身体機能のある方でした。身体機能の維持・回復のために「少し動いてみませんか」と言う。「わしは麻痺があるから動けない」と言う。ならば、ということ、おじいさんが50年来もの間続けてきた牛の世話にお誘いしたところ、言い終わらないうちにベッドから起き上がり、歩き出そうとしたと、備酒助教授は微笑みます。

これはいわば、「天の岩戸」のようなもの。天照大神が閉じこもった岩戸を開くのは、屈強な男達の腕力ではなく、楽しく明るい宴と踊りなのです。天照大神が「出たい」と思っただからこそ、重い岩戸を開いたわけです。介護や福祉の本質は、岩戸を開くことによく似ています。つまり、なによりもまず「心」を開くこと、そこが介護福祉のスタート地点になるわけです。

「介護や福祉は、押し付けるものではなく、支えるものである。」総合リハビリテーション学部の学生たちを前に、備酒助教授は何度も繰り返します。理学療法士として、23年間現場を見続けた上でのひとつの答え。その答えが学生たちに受け継がれ、新たな日本の介護福祉を創造する。その日を夢見て、備酒助教授は今日も教壇へと向かいます。

総合リハビリテーション学部  
医療リハビリテーション学科 助教授  
備酒 伸彦  
BISHU NOBUHIKO

食事はもちろん、このことは介護福祉制度全般にあてはまります。備酒助教授があるおとしよりのお宅に在宅介護へ赴いた時のこと。その方はベッドでの起き上がりや立ち上がって「二歩なら歩くことができるという



## 神戸学院大学

●有瀬キャンパス / 〒651-2180 神戸市西区伊川谷町有瀬518 TEL.078-974-1551(代表) FAX.078-974-5689

【法学部】法律学科・国際関係法学科 【経済学部】経済学科・国際経済学科 【経営学部】経営学科 【人文学部】人文学科(2006年4月開設)・人間心理学科  
【総合リハビリテーション学部】医療リハビリテーション学科・社会リハビリテーション学科 【栄養学部】栄養学科 【薬学部】薬学科(2006年4月、6年制学部開設)  
【大学院】法学研究科・経済学研究科・人間文化科学研究科・栄養学研究科・薬学研究科・食品薬品総合科学研究科

●長田キャンパス / 〒653-0862 神戸市長田区西山町2-3-3 TEL.078-691-4888(代表) FAX.078-691-4333  
実務法学研究科(法科大学院)

●ポートアイランド新キャンパス | 2007年4月開設